

講習の名称	【選択】英語科教材研究：マルチメディアを活用した授業実践
講習の概要	本講習は、特に中・高の英語教諭を対象に実施するものである。中学校・高等学校での英語の指導に、直接的・間接的に役立つマルチメディアを活用した授業の提案と、それを実践するための指導スキルの向上を目指す。講習は、前半と後半とに分け、前半はマルチメディアを活用した授業の提案を行い、後半はその授業を実践するためのスキルについて指導する。評価は、前半・後半とも筆記試験で行う。
担当講師	中西 達也（地域教育文化学部担当教授） 石崎 貴士（大学院教育実践研究科担当准教授）
講習開設日	平成 30 年 8 月 1 日
開設時間	8:50～16:10
開催地	山形県山形市
会場・教室	地域教育文化学部 2 号館 3 階・マルチメディア演習室 (普通教室ではないので 8:30 解錠予定です)
対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校教諭（英語）・高等学校教諭（英語）
受講予定人数	12 人
受講者への連絡事項 (持ち物等)	午後の部ではパソコンを使用します。マルチメディア演習室に備え付けのパソコンがありますが、立ち上げに時間がかかり遅いので、ご自身のノートパソコン(Windows)をお持ちの場合は持ってきてください。各自の電源コンセントがあります。 講習で使用した電子的な情報等を持ち帰る必要のある方は、自身のパソコン、USB メモリ、メール、クラウド等を使ってください。
評価基準	①全ての時間出席していること ②筆記試験の得点が 60 点以上であること。
評価の観点	①講習内容を理解し、それらの説明(記述)ができているか。 ②講習内容を理解し、それらをどのように教材作成、授業・活動等に生かしていくのか説明(記述)ができているか。
その他特記事項	午後の授業に備え、パソコンの基本的操作が弱い人は勉強をしてきてください。例えば、フォルダーの作成方法、複数のファイルの選択方法、コピー・移動・ショートカット作成の方法、フリーウェアのダウンロード(実行ファイル、圧縮ファイル等を階層構造を作り整理して保存しておくこと)など。 基本的な用語の意味を調べておいて下さい。例えば、「登録されている拡張子は表示しない」とはどういう意味か、codec とは何かなどは、みなさんが判らないことばの代表格です。